

6/24 (土) **クリーンアップひぬまネットワーク
ひぬま流域クリーン作戦の実施**



クリーンアップひぬまネットワーク（水野恵美子会長）は、涸沼の水質浄化活動の一環として、ひぬま流域クリーン作戦を実施し、涸沼自然公園を拠点に涸沼周辺のごみ拾いを行いました。

当日は、同ネットワーク会員の企業や団体のほか、地元の町民など約250人が参加し、90kgのごみを回収しました。

6/23 (金) **もしものときのために
町職員による避難所運営訓練を行いました**



町では、避難所の運営を担当する職員を対象とした避難所運営訓練を実施しました。

訓練では、避難所で使用するパーテーションなどの資機材の設置手順や、避難者を受け入れる際の受付の流れなどの確認を行いました。

今後も災害発生時に、迅速かつ的確に対応できるよう、各種防災対策に努めていきます。

電気自動車用急速充電器を設置しました

町では、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、役場来客者用駐車場に**電気自動車用急速充電器**を設置しました。電気自動車やプラグインハイブリッド車の充電にご利用ください。



- ▶ **使用料**
 - **充電カードをお持ちの方**
各カード発行会社にお問い合わせください。
 - **充電カードをお持ちでない方**
(クレジットカード課金で利用される方)
1回あたり550円
- ▶ **使用時間** 1回あたり30分まで
- ▶ **開放時間** 24時間（年中無休）
※ただし、点検等により使用できない場合がありますのでご了承ください。
- ▶ **その他**
CHAdeMO（チャデモ）規格対応車種以外の車には充電できません。詳しくは、町ホームページをご覧ください。



【問合せ先】 財政課 ☎ 029-297-5005（直通）

5/23 (火) **楽しく運動して介護予防
シルバーリハビリ体操指導士に感謝状**

茨城県シルバーリハビリ体操指導士会では、多年にわたりシルバーリハビリ体操指導士として地域住民の健康づくりや介護予防の推進に尽力しています。その功績をたたえ、感謝状が贈呈されました。

茨城県知事賞を受賞した佐藤典子さんは、「シルバーリハビリ体操は自分自身の健康のためにも良く、10年間頑張ってきました。今後も皆さんのため、お役に立てれば幸いです。」と語りました。



シルバーリハビリ体操とは

特別な器具を使わず、いつでも、どこでも、ひとりでも出来る介護予防に役立つ体操。立つ、座る、歩くなどの日常動作の訓練にもなる体操と、筋肉を伸ばして柔軟性を高めるための体操で構成されています。

受賞者（五十音順、敬称略）

茨城県知事賞	佐藤典子
茨城県福祉部長賞	玉岡早苗
茨城県立健康プラザ 管理者賞	大野真弓、岸本雅美、 中山均、山口康代

6/17 (土) **第50回茨城県消防救助技術大会
町消防本部 引揚救助の部で好成績**



第50回茨城県消防救助技術大会が、筑西広域市町村圏事務組合消防本部で開催され、県内の消防職員が日頃培ってきた救助技術を競いました。

茨城県内24消防本部32チームが出場した「引揚救助（低所に倒れている人を高所にロープで引き揚げる）の部」に、町消防本部からは2チームが出場し、3位、4位と好成績を収めました。

今後も町民の皆様の安全・安心のため、訓練を行い技術の向上に努めていきます。

6/21 (水) **茨城県防災航空隊との合同水難救助訓練
水難救助隊発足に伴う大規模水難救助訓練**

令和5年度から、町消防本部に水難救助隊が発足しました。水難救助隊は、涸沼等で発生した水難事故に出動し、潜水資機材を用いて救助活動を行います。

今回は、厳しい訓練を乗り越えた精鋭隊員が、潜水資機材を身にまとい、涸沼湖上に漂流する要救助者を、茨城県防災ヘリコプターと連携しながら救出するという訓練を実施しました。潜水隊員は、日頃の訓練同様、安全でスピーディーな水難救助活動を行いました。

（茨城県下石崎地内 広浦港沖涸沼湖上）

潜水資機材とは

スクーバセット（空気ボンベ・ヘルメット・マスク・フィン）・水中ライト・水中ナイフ・救命浮輪など

